

ヤマハニュース Yamaha News

2003 NO.481

OCT. **10**

Monthly Tops

2003 東京モーターショー出展モデル / DSC4 / BJ50
エバーツ&ヤマハ世界MXGPを制覇 ほか

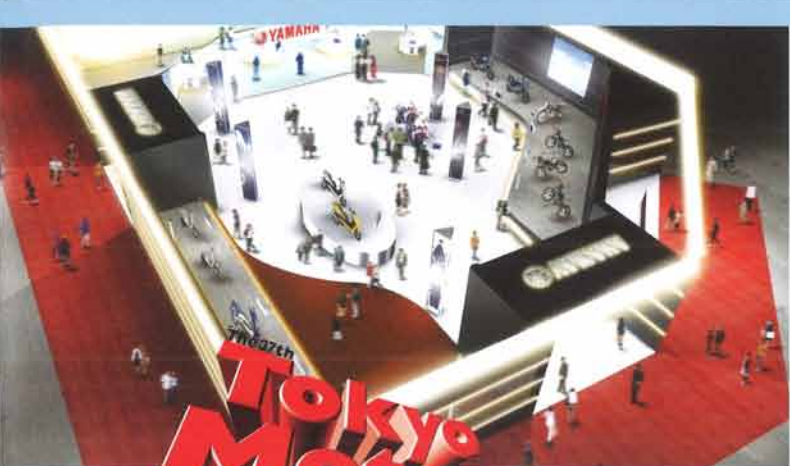


MC FRONT LINE
CYGNUS-X 販売最前線
実用オンリーの殻を破れ!

ヤマハ探訪
生産技術

今月のCROSS OVER
BIKE BANK (レンタルガレージ)

バイクショップ百景
YSP福大東



Tokyo Motor Show

Passenger Cars & Motorcycles

第37回 東京モーターショー 2003

ヤマハ主要出展モデル

10月25日(土)から11月5日(水)までの12日間、幕張メッセ(千葉県)でいよいよ「第37回 東京モーターショー 2003」が開催されます。

今回のヤマハブースは「The Art of Engineering」がテーマ。「環境と感動の両立」の実現を通じて「人々に新たな感動と豊かな生活を提供する」ことを企業理念とするヤマハの現在と未来の姿を、あたかもミュージアムで芸術作品を鑑賞するような感覚でご紹介します。

ブース内に並ぶのは、感覚性能を追求する“人機官能”、最新科学技術の製品への展開、デザインと性能の高次元での融合を象徴的に具現化した、世界初出品13機種、国内初出品6機種の製品と提案モデル。ヤマハが考えるパーソナルビークルのあるべき姿、可能性を、ぜひたくさんのお客さまと一緒に、ゆっくりとご観覧ください。



YZF-R1 (海外向けモデル)

MotoGPマシンの設計思想や最新技術を随所に投入し、“コーナリング”“エンジン性能”“スタイル”の3要素を高次元で融合。172PSのビッグボア軽量エンジン、クローズドデッキシリンダー、アップマフラー、新デルタボックスV(ヴィクトリー)フレームなどの相乗効果により、既成概念を打ち破る官能的な走りを実現します。



XG250 Tricker

(市販予定モデル)

トルクフルな空冷4サイクルOHC単気筒エンジンを、前19インチ・後16インチのYZ85サイズボディに搭載した新しいストリートスポーツモデル。110kgの軽量ボディ、エンジン搭載位置の最適化により、BMXやトライアルを連想させるエクストリーム感覚のファンライドを実現します。



YP250 Grand Majesty (市販予定モデル)

CFアルミダイキャストパーツを取り入れた複合素材フレームに、フュエルインジェクション、DiASil(ダイアシル)シリンダー採用の新設計DOHC4バルブエンジンを搭載。前14・後13インチタイヤ採用と合わせ、ワンランク上の高速安定性と快適性、収納力を実現しました。



Vino (市販予定モデル)

ファッションスクーターの代名詞として人気のVinoが、さらに可愛いスタイルで登場。新しい水冷4サイクル3バルブエンジンは、ヤマハ50cc初のメッキシリンダーを採用。優れた環境性能と2サイクル同等レベルの走りを両立させています。

「第37回東京モーターショー」開催概要

■テーマ

「いま挑む心。Challenge & Change — 希望、そして確信へー」

■会場・アクセス

幕張メッセ(日本コンベンションセンター)：千葉県千葉市
JR海浜幕張駅より徒歩、またはJR・京成幕張本郷駅よりシャトルバス

■開催日時

特別招待日：10月24日(金)

特別招待者／9時00分～18時00分
一般招待者／12時30分～18時00分
一般公開日：10月25日(土)～11月5日(水)
平日／10時00分～19時00分
土・日・祝日／9時30分～19時00分

■入場料

一般：1,200円(前売1,000円)
中学・高校生：600円(前売500円)
小学生：無料

■前売券

発売期間：9月1日(月)～10月24日(金)
発売場所：JR東日本、ローソン、サンクス、サークルK、セブンイレブン、チケットぴあ、CNプレイガイド、東京都プレイガイド協会加盟店、東急観光、JTB、近畿日本ツーリスト、アムラックストア、東京都内65大学90生協ほか

■公式ウェブサイト

<http://www.tokyo-motorshow.com/>

出展予定モデル一覧

●市販予定モデル

XG250 Tricker(トリッカー)
YP250 Grand Majesty
Vino
Vino DX
●海外向けモデル
YZF-R1
FZ6-S "Fazer"
FZ6-N "FZ6"
XT660R
XT660X
XP500 TMAX

●参考出品モデル

MABRICE(マブリス)
Grand Majestyカッターモデル
Tricker Pro
Chivicker(チビッカー)
dolsa wind(ドルサ・ウインド)
DIVIDE(ディバイド)
POCKE(ポッケ)
FC06(燃料電池車)
Passol L



FC06 (参考出品モデル)

出力500W級の直接メタノール型燃料電池(DMFC)ユニットでPassolベースのモーターを駆動し、環境対応性能と十分な航続距離を両立させたFC通勤用。燃料は取り扱い容易なメタノール水溶液。アウトドアや災害時の電源供給に役立つ300WのACアウトレット、GPSナビゲーション、後方確認カメラなどを備えながら、50ccクラスの小型ボディを実現しています。

XT660X (海外向けモデル)

[XT660R]をベースに、前輪320mmディスク&4ポットキャリパー、専用アウターチューブ、専用タイヤ設定(前120/70-17&3.50リム後160/60-17&4.25リム)などを採用。欧州で人気のスーパーモーターの世界を再現しました。



DIVIDE (参考出品モデル)

"メタルアート・コミューター"をコンセプトに、EVの可能性を追求したモデル。電動式折りたたみ機能を備えた斬新なボディは、たたんだ状態でもオブジェのようにスタイリッシュで、そのまま押し歩きも可能です。



Monthly Tops MOTOR SPORT

8連勝で決めた！エバーツ&ヤマハ 世界MXGP・初代チャンピオン獲得

8月31日、世界選手権モトクロス第11戦・チェコGPが開催され、ヤマハYZ450FMを駆るステファン・エバーツがモトクロスGP(MXGP)クラスで優勝。通算ポイントを250として、最終戦を待たず初代チャンピオンに輝きました。

MXGPは、FIMのレギュレーション変更により、今シーズンから新設された最高峰クラス。昨年まで500ccクラスを2年連続で制したエバーツ(ヤマハL&Mモトクロスチーム)は、この開幕戦でも3位表彰台を獲得。続く第2戦、第3戦こそ不発に終わったものの、YZ250Fで125ccクラスとのダブルエントリーを開始した第4戦から一気に連勝。第8戦・ベルギーGPでついにランキングトップに立ちました。

そして迎えたチェコGP。好スタートを切ったエバーツは、序盤から積極的にレースをリード。さらに追走するスメッツ、マクファーレンらがアクシデントで大きく後退すると独走体制を固め、チームメイトのマルニック・ベルブーツとともにワンツーフィニッシュ！堂々の8連勝で史上最多となる個人7つ目の世界タイトルを手に入れ、ヤマハも初代MXGPメーカーチャンピオンを決定しました。

またエバーツは、最終戦でMXGPと125cc、650ccの3クラスに出場。そのすべてに優勝を果す快挙で、世界選手権の通算優勝回数を歴代最多の72回に伸ばしています。

エバーツ「このレース(チェコGP)、僕とはにかん全力で後続との差を広げようとしていた。序盤、スメッツやマクファーレン、ヨルゲンセンがバトルしていたのは知っているが、その後スメッツが10位まで落ちたことは知らなかった。今日決まると思ってなかったし、最終ラップで"SEVEN TIMES CHAMPION"というビットサインを見てもよく意味がわからなかったんだよ。チェッカーを受けてビットに戻ってきたら、チャンピオンTシャツが用意されていて、やっと気がついた！誰よりも多い、7つ目のタイトル……。僕は'89年にGPレースを始めた時からずっと、これをめざして頑張ってきたんだ」



10月26日の全日本MX最終戦(スポーツランドSUGO)に、エバーツ参戦決定！チャンピオンの走りを、ぜひナマでご覧ください

■2003エバーツの軌跡/MXGPクラス

第1戦	スペインGP	3位
第2戦	オランダGP	9位
第3戦	ドイツGP	4位
第4戦	イタリアGP	優勝
第5戦	ブルガリアGP	優勝
第6戦	オーストリアGP	優勝
第7戦	スウェーデンGP	優勝
第8戦	ベルギーGP	優勝
第9戦	オランダGP	優勝
第10戦	ドイツGP	優勝
第11戦	チェコGP	優勝(タイトル決定)
第12戦	フランスGP	優勝(3クラス制覇)

■2003ランキング/MXGPクラス

1	S.エバーツ	Y	275
2	J.スメッツ	Kt	235
3	M.ピジョン	S	188
4	B.ヨルゲンセン	H	176
5	K.グンダーセン	K	150
6	A.マクファーレン	K	141
7	C.フェデリチ	Y	131
8	M.ベルブーツ	Y	127

※ここでご紹介した商品の価格は、すべてメーカー希望小売価格です。
※価格に、税金（消費税含む）は含まれていません。

- ：今回の新しい特長
- ：従来の主な特長

Monthly Tops NEW MODELS

サイズ大きめ・価格ひかえめ 実用重視のプランニュー50

ワンクラス上の大きな車体に充実した性能・機能を盛り込みながら、市場ニーズに応えるリーズナブル価格を実現した新しい50ccスクーター、それが「BJ50」。カラーも豊富な全8色（発売日が異なる）。通勤、通学、買い物、ビジネスなど幅広い用途で、あなたにでも気軽にオススメのアイテムです。

ヤマハスクーター

BJ50 (ベーシックジョグ)

¥105,000

カラー：6タイプ/2タイプ

10月24日/2004年1月 新発売

- 台湾生産で市場ニーズに応えるリーズナブル価格を実現
- リモコンJOGと共通の高性能で信頼性に優れたエンジン
- Lサイズヘルメット（形状によって異なる）も収納できる大容量トランク
- インナーポケット、コンビニフック、リアキャリアを装備
- 燃料計付きメーター
- Pロック標準装備（トランクにぴったり収まる専用形状）
- 豊富なカラーバリエーション（全8色・一部発売日が異なる）

パールパーブリッシュブルーメタリック1



ブラック2 フェアリーシルバー ホワイトメタリック1 ライトグレイメタリックK



パールマゼンタメタリック4 ライトグレイッシュブルーメタリック8 (2004年1月) ダークバイオレットメタリックA (2004年1月)

盗難保険とキーロックもプレゼント ダブルの安心キャンペーン実施中!



導入時のセールスプロモーションとして、本年12月末まで「盗難保険プレゼントキャンペーン」、来年4月末までは「キーロックプレゼントキャンペーン」を合わせて実施いたします。詳しくは担当のヤマハセールスマンまで。

キーをメインスイッチに差したまま、がっちりロック。盗難やいたずらの抑止に大きな効果を発揮する「キーロック」

イモビライザーを装備し 新色の2004モデル登場

洗練されたスタイリッシュなデザイン、ロー&ロングの堂々たる車格、扱いやすく信頼性の高いエンジン……。400ccアメリカンモデルのトップブランド「DSC4」が、2004ニューカラー&盗難抑止に役立つイモビライザー装備で登場します。

ヤマハスポーツ

DragStarClassic400

¥679,000

カラー：3タイプ

10月24日 新発売



ブルーイッシュホワイトカクテル1

- 2つの新色で3カラーバリエーション人気の「ヤマハブラック」に「ブルーイッシュホワイトカクテル1」と「ディーパーブリッシュブルーメタリック」を加えた3色をラインナップ
- 盗難防止に役立つイモビライザー偽造キーや不正な手段によるメインスイッチへのアクセスを受け付けない、ヤマハスポーツモデル共通仕様のイモビライザーを装備
- アメリカンカスタム本流の「ロー&ロング」スタイル
- 400ccクラス唯一の空冷Vツインエンジン

ディーパーブリッシュブルーメタリック

ヤマハブラック



ぷらっとレポート

Vol. 7



成田選手を筆頭に国際A級ライダー・吉原朋正さん、日本のトライアルの草分け・木村治男さんを講師陣に迎えて9月13日(土)に天竜観音山特設コースで開催された「ちゃれこん!」には定員を上回る24名がエントリー。「楽しく遊ぼう!」という企画意図もあってか、参加者みなさんの雰囲気はとっても和やか。今年も残すところあと2回で終了となる(11月2日・F2ファミリーフィールド小湊、11月29日・香川スポーツランド)

澄み渡った空に爽やかな風……。バイクで出かけるには絶好の季節となりました。今度の週末はどこに遊びにいかがかななんて考えていた矢先に目に飛び込んできたのがマシンコントロールのテクニックを伝授してくれると言う「ちゃれこん!(チャレンジ・コントロール)」の開催案内。詳細はよく分からないけど、イベント名が面白そうな響きだしマシンやオフロードギアがなくてもレンタルできるしなによりもトライアルのトップライダー・成田選手から直々に教われるとあれば、これはもう行くしかないでしょう!

ちゃれこん!(チャレンジ・コントロール)

「僕が講師ということで、トライアル色が強いと思うている方も多いでしょうね」と爽やかな笑顔を見せる成田選手。でも実際「ちゃれこん!」はモトクロスでもなく、トライアルでもないノンジャンル。ダートコースをスタンディングで走ったり、丸太や一本橋を使って荷重や抜重、そしてアクセル操作を教わったり……。言葉にすると小難しい感じですが、スポーツ感覚でバイクと遊ぶことを主目的に、今年からヤマハが開催しているスクールイベントなのです。

上・中級者の満足度向上が初心者を引き込む糸口には?

当初、TWやセローなどで町中を流しているユーザーに対し、バイクで遊ぶ場を提供しようと思ったこの企画。手軽に参加してもらおうと、車両だけでなく装備類のレンタルも用意されています。しかし参加者傾向については、女性が増えているとは言え、オフロードイメージが強く、モトクロスやトライアルをかじったことのある20代後半から40代男性が中心といえます。「レースに参加したり、林道や山道ツーリングによく行くなど、経験を積んだ人の方が課題が見えている。その苦手な部分を克服するヒントを求めて参加しているようです」と成田選手は分析。

もちろんキャリアの浅いライダーもいます。そんな方々の参加動機として多いのが、「先輩や友だちに誘われてオフロードを走ってみたら面白かった。だから、もっと上手くなって、みんなに追いつきたい」というもの。

「一緒に走ったり、目標となる仲間が身近にいと、バイクへの意欲が俄然高まります。「ちゃれこん!」の参加者として、彼らの周りの初心者、時にはノンユーザーをバイク遊びに引き込む立役者として期待できるのではないのでしょうか?」



成田選手の華麗なデモンストレーションを食い入るように真剣な眼差しで見つめる参加者のみなさん。「自分のマシンでもあんなことができるんだ!」と衝撃的でした!というセローオーナーの方もいた



失敗しても常に笑顔で応じてくれる吉原さん。「テクニックが上ればバイクに乗る楽しさが広がるし、ステップアップにも結びつく。でも、そんな理屈より純粋にバイクって楽しい、面白いと感じてもらうことが重要」



休憩の合間にも講師の方々とコミュニケーション。操作しやすいマシンセッティングやタイヤチョイス、メンテの仕方など、プロならではのワンポイントを気軽に聞けるのも「ちゃれこん!」の魅力



通常のスクールと異なり、参加者のレベルも様々。「何度かその人の走行を観察し改善ポイントを探ってから、気分が乗ってきたタイミングを見計らって、その人に合わせたアドバイスをしている」と成田選手

次ぎへのステップを生むほど良い欲求不満状態

指導にあたって成田選手は「とにかくほめる。そして、達成可能な目標の設定を心がけている」と言います。

「特に手が届きそうな目標を探してあげることが大切。クリアできれば喜びに繋がるし、もう一段階上を目指してみたくなるはず。たとえスグに達成できなくても、まったく歯が立たない状況では諦めてしまおうという、できそうではないもどかしさに、かえって夢中になってしまおうのが人の心理です」

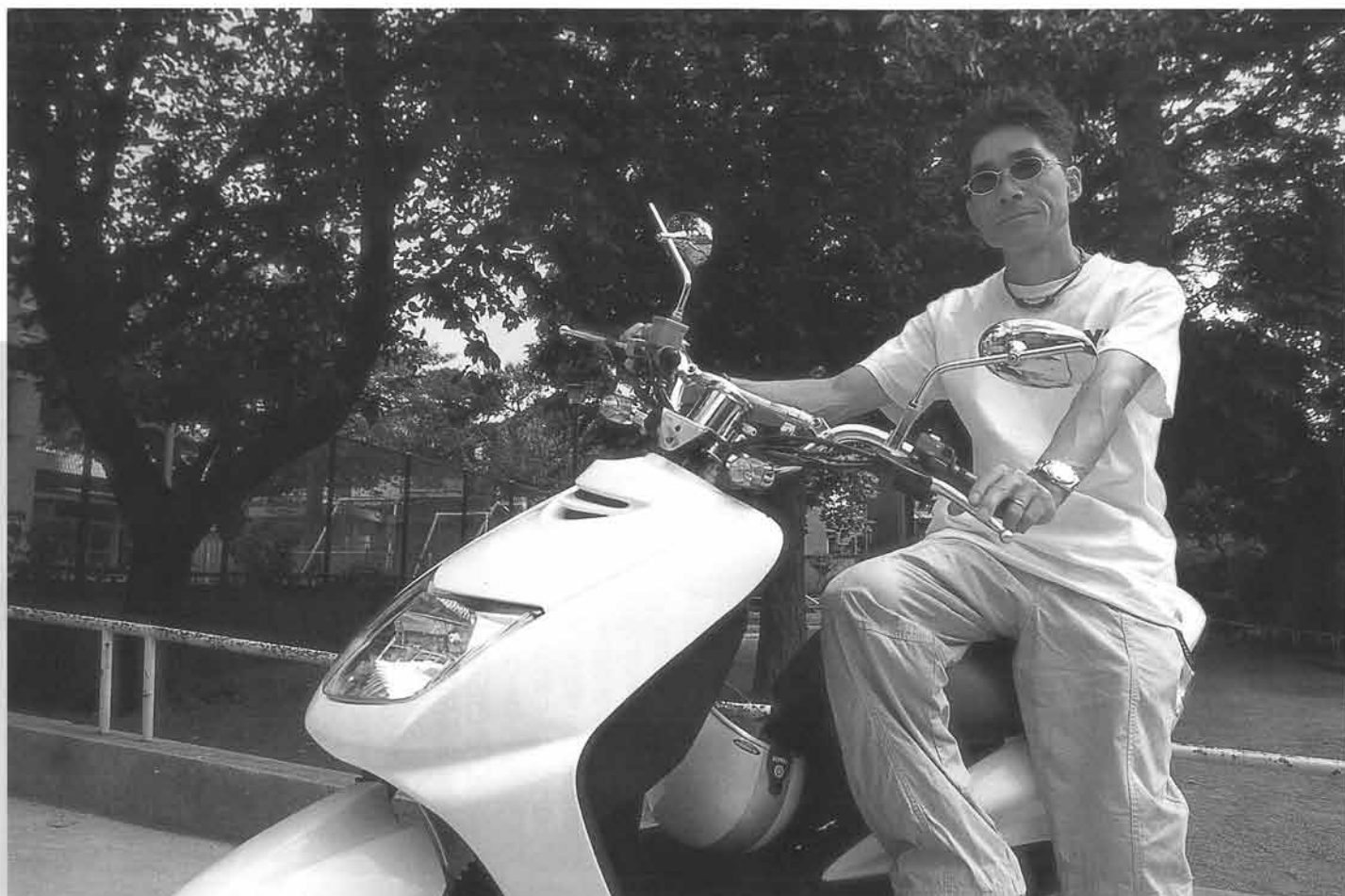
スケジュールもぎつり詰め込まず、適度に休憩を挟み、「もうちょっとやりたい」と思わせる程度で一日のメニューが終わるよう工夫が施されています。「何事も八分目ですよ(笑)」

楽しい時間を共有しよう

成田選手が指導してくれると聞きつけて、世界レベルのテクニックを近くで体感したい、と参加を希望した人が少なくありません。「的確なアドバイスで分かりやすく、上達した気がする(笑)」成田選手が「対一で教えてくれて感激!」講師の方々がとても親しみやすかったという声も。そしてみなさん口々に「楽しかったから、また参加したい」と満足そうな表情です。

「まず主催側が面白くないと、その楽しさは伝わらないと思うんです。つまらないことは誰もやりたがりませんよね。だから僕自身、講師という立場ですが、みなさんと一緒に楽しんでます!」明るく愉快な雰囲気の中、向上心をくすぐられつつ、絶妙な渴望感との相乗効果でまたチャレンジしてみたいと思わせる「ちゃれこん!」。楽しさの秘訣は成田選手を始めとする講師の方々の笑顔にあるのかもしれない。

CYGNUS-X 販売最前線 実用オンリーの殻を破れ!



ホワイトボディにバーハンドル、マフラー、マルチバリエーターを組み込み、シンプルにまとめた網野さんのシグナスXカスタム



都市型ダイレクト通勤ユーザーをメインターゲットに、優れた機能・性能・耐久性とハイクオリティなデザインを織り込んだタフネスコンフォートスクーター「CYGNUS-X」。現在、グランドアクシスなどの各社100ccモデルが圧倒的なシェアを得ている原付二種スクーターカテゴリーで、125cc4ストロークのシグナスXはどのように受け入れられているのだろうか。今回の特集は、9月号のパッソルに引き続きシグナスXのお客さまと販売店さんにスポットを当て、購入に至るまでの動機や経緯、使用状況などを聞いた。



MC FRONT LINE

カスタム展示車に一目ぼれ！ 通勤も週末もコレにおまかせ

網野定夫さん（東京都世田谷区／48歳）

東京都内で内装業を営む網野さんは、当初、仕事先への通勤のためにシグナスXを選んだ。

「私の仕事先はだいたいマンションや一戸建ての住居が多く、しかも都内だと、クルマでは駐車場にすぐ苦勞します。それで、初日に道具や機材を下ろしたら、翌日からはバイクで通おうと考えたんです。交通量の多い都内は50ccじゃつらいけれど、高速に乗るわけではないので、125cc以下で十分。でも、5年前までは趣味でバイクに乗っていましたが、街でマジスティなんかを見かけると、どうせ乗るならカッコいいのが欲しい。そ

Gアクシスと並ぶ原二の軸 カスタム提案でさらに期待

YSP上馬／丁子靖社長

シグナスXは、発売から1カ月半ほどで6台売れました。このクラスでは上々の滑り出しですが、ニューモデル効果を考えると手放しに喜んでいいものがないかな。

もちろん、国内モデルラインナップの充実という意味では、これから先が楽しみな存在。原付二種スクーターは、二人乗りができて価格も手頃な100ccのグランドアクシスが主力モデルで定着しています。そこにシグナスXが加わって、それぞれ100ccと125cc、2ストと4ストなど個性が分かれていて、価格帯も異なるから、相乗効果で原付二種スクーター全体を盛り上げてほしいと期待しています。

シグナスXの商品性自体は、ヒットする条件を十分備えていると思うし、お

う思っ、自宅近くや通勤途中でバイクショップを見つけては、あちこち覗いていました。ところが、気に入ったものがなかなか見つからない（笑）。いい加減探し疲れたところ、ようやくYSP上馬さんでシグナスXを見つけました。ああ、これだとピンと来ました。その展示車はかなりオリジナルのカスタムが加えてあって、それをベースにしながら相談したんですが、丁子社長の説明が丁寧でわかりやすく、この店なら信頼できると感じました。購入を決めた理由のひとつです」

8月上旬に納車され、およそ1カ月で走行距離は500km。重すぎず軽すぎず、走

客さまの評価も高い。大柄に見えますが、カタログ上では幅も長さもグランドアクシスとほとんど同じなのに、トランクはかなり広い。走りもグランドアクシスよりどっしり安定感があり、静粛性が高い。このあたりの好みは、車種選択のポイントになっています。

デザインについても、ほとんどの人が最初からノーマルで乗っていますし、気に入って

行フリーリングは好みにびったりで、毎日の通勤には大変満足していると網野さんは話す。しかし、しばらくしてシグナスXは週末にも活躍の場を広げはじめた。

「仕事に行くときは弁当箱がひとつ入れば十分なのでわからなかったんですが、あるとき東京湾へ趣味の釣りに行こうとして、ふと気がついたんです。タックルボックスや折畳みのサオまで道具が一式すっぽり収まるんですよね。それからは、毎週日曜日、シグナスXが釣りのパートナー。もう駐車場や渋滞で困ることもないし、とても快適に使っています」

それだけではない。白をベースにシンブルなカスタムを施したシグナスXは、お嬢さんにも好評。ときどき後ろに乗せて街へ出かけるという。

「20歳を過ぎた今でも、買い物に付きあつてとか誘ってくれます。今日はこれから一緒にパフェを食べにいく予定なんですよ」



もらっているといます。カスタムはまだこれから。パーツがそろっていないこともあって、モーターサイクルショーに出したモデルはサンプルの段階です。マジスティより本体価格が安いので、カスタムの料金が同列では通用しません。基本性能プラスアルファの付加価値として納得できる範囲で、いかにYSP上馬らしい提案ができるかがカギですね。

所ジョージさんもお気に入り！ 静かでスムーズなシグナスX

マジスティ、TMAX、グランドアクシスと次々にヤマハ車のカスタムを手がけている所ジョージさんですが、最近のお気に入り、都内の移動によく使っているというシグナスX。「一般人が本当に使いこなせるバイクって、125ccぐらいの排気量が限界じゃないかな。なかでもシグナスXは、自分が操ってるって実感できる、いいバイクだね。4ストらしくスムーズに回転が伸びるエンジンは、町なかで十分速いし、静かだから社会的にも合ってる。車体はマジスティより少し小さめだけど、剛性がしっかりしていて安心感がある。大きいトランクスペースやコンビニックも付いていて、日頃の移動にすごく便利。仕事場へバイクに乗って来るタレントは俺ぐらいのものだけど、それくらいシグナスXは移動手段として最適ってことだね」

もちろん、いくら実用優先とはいえ、好みのカタチにこだわるのが所さん流。定番のハンドルまわりやマフラーなどに手を加え、お気に入りのステッカーでさりげなくドレスアップしてある。「奇抜なことしようと思えばいくらでもできるけど、カスタムって自己満足の世界でしょ。俺の場合は目立ちたいとか、売りたいわけじゃないから、好きなことを好きなようにやってる。それがいいものを作る秘訣かもね」



奥にあるもう1台のシグナスXは、友人の奥田民生さん（ミュージシャン）が所有。これから本人が手を入れていく予定とか

通勤用にGアクシスから代替え プラス25ccのパワーを実感!

仮屋誠さん(神奈川県横浜市/41歳)

「高校を卒業して原付バイクに乗り始め、中型、大型とステップアップすると、また小回りの利くスクーターが欲しくなるんですよね。本当はスポーツのオンとオフ、スクーターの3台を持てれば理想的なんですが……」と笑う仮屋さんは、現在XJR1300を所有する傍ら、最近グランドアクシスをシグナスXに買い替えた。

「自宅が新横浜駅の近くで、会社は新川崎駅の前。電車だと乗り換えがあつて面倒だし、時間もかかる。それでバイク通勤に切り替

え、街乗り用に使っていたスクーターもBWSからグランドアクシスに乗り替えました。今回シグナスXを買ったのは、流れの速いバイパス道路でもう少しパワーに余裕が欲しかったから。100ccと125ccでは10万円近い価格差がありますが、それはしょうがない」

しかし、購入したマルチオートさんは台湾



やヨーロッパ、国産を含めて幅広いメーカーを扱う併売店。価格的にシグナスXより安い海外モデルや、国産他社モデルも豊富にそろっている。

「確かに、台湾の輸入車と最

後まで迷ったんですが、やっぱりメーカー保証など安心感で国内モデルがいい。そのなかでもシグナスXはニューモデルだし、ほかの125ccにない洗練されたデザインが目を引きました。それで今回は、試乗もせずに予約したんです。私はヤマハ党ですから、性能面は信じていました(笑)」と、仮屋さんの車種選択は思いきりがいい。

「もう10台以上のバイクやスクーターを乗り継いできてますし、感覚的にわかる(笑)。バイクって、スクーターも含めて基本的に趣味の乗り物だと思うんです。善し悪しは理屈じゃなく、乗り手がどう感じるか。だから、どんなに素晴らしいマシンでも100%の満足はありえ

仮屋さんの走行距離は300km。「第一印象は、すごく静かなエンジン。慣らしの間ちょっと加速が物足りなかったけれど、最近アクセルを思いきり開けられるようになって、乗り換えた甲斐があつたと実感しています」



デザインのよさで国産をリード 今後は客層の若返りにも期待

マルチオート・国産車センター/渡辺輝夫店長

ない。そうでなければ、より良いものを求める気持ちがなくなくなるし、カスタムしてみようと思わないでしょ。

このシグナスXだつて、実際に使ってみて、エンジンや足まわりの安定感など十分満足していますし、デザインも気に入っている。だけど、カスタムしてみたくなくなるかもしれません。ただ、この次はXJRの番。モーターショーも気になるし、そつちでお金がかかっちゃういそうですから(笑)」

横浜市を中心に他店舗を展開しているマルチオートのなかで、ここ国産車センターは新車・中古車あわせて250〜300台を展示・販売しています。そのうち原付二種のスクーターは国内3社と台湾のモデルがありま

ほかの国産モデルを1歩も2歩もリードしていません。さらに商談の時も、125クラスではおそらく一番大きいトランクと、盗難保険プレゼントが有利な材料になりました(9月末終了)。商談が複数同時進行する場合が多く、ひとりのお客さまにあまり時間をかけられない量販店にとつて、シグナスXのように「見た目でわかりやすい」「セールスポイントが明確」な商品は、すごく奨めやすい商品なんです。

今までのところ客層は30代、40代以上の男性がほとんどですが、どうやらカスタムパーツもそれなりにそろっているようですし、サンブルのデモ車両を作って店頭飾れば20代の若いお客さまも獲得できるかも知れませんね。本来、125ccクラスは税金とか交通規則などの面で優遇されているはずなのに、オジサンバイクという固定観念のせいで損していると思うんです。シグナスXがそれを覆すきっかけになれば、と期待しています。

「確かに、台湾の輸入車と最
後まで迷ったんですが、やっぱりメーカー保証など安心感で国内モデルがいい。そのなかでもシグナスXはニューモデルだし、ほかの125ccにない洗練されたデザインが目を引きました。それで今回は、試乗もせずに予約したんです。私はヤマハ党ですから、性能面は信じていました(笑)」と、仮屋さんの車種選択は思いきりがいい。

「もう10台以上のバイクやスクーターを乗り継いできてますし、感覚的にわかる(笑)。バイクって、スクーターも含めて基本的に趣味の乗り物だと思うんです。善し悪しは理屈じゃなく、乗り手がどう感じるか。だから、どんなに素晴らしいマシンでも100%の満足はありえ



性能、快適性、実用性、デザイン すべてを高バランスにまとめた1台

辻野富美夫さん（大阪府八尾市／49歳）

16歳でバイクに乗りはじめ、現在はスポーツ車6台とスクーター2台を所有する辻野さん。

「いろんなタイプのバイクを、気分や目的に合わせて乗り分けるのが楽しみなんです。スクーターもいろいろ買いま

したが、単純に実用だけで割り切るようなことはしたくない。やっぱり乗っておもしろくないとね。その点、国内モデルはどれもま

じめすぎるので、最近までヨーロッパの輸入モデルに乗っていたん

です。ところがこれは、逆にスポーツすぎで乗り心地がよくないし、実用性にも欠ける。何かちょうどいいスクーターが欲しいなと思っていましたよ」

そこで目を付けたのが、シグナスXだった。

「国内向けの原付二種、特に125ccスクーターはただのオジサンバイクっていうイメージしかなかったんですが、メッキシリンダー採用の4スト・4バルブエンジン搭載って聞いて、すごく興味をそられたんです」

行きつけのYSP大阪東さんが8月のお盆休みに入ると、辻野さんは数日間シグナスXを借りてあちこちを走り、十分納得したうえで購入を決めた。



「私はいつも、じっくり試乗して気に入ったのしか買いません。関本社長（YSP大阪東）はそれをよく知っているので、シグナスXも快く試乗を奨めてくれました。今回はトータル400kmくらい走ったでしょうか」

辻野さんをもっとも喜ばせたのは、そのバランスの高さ。走行性能、快適性、実用性、そしてデザイン。どれをとっても不満のないデキだったと話す。

「納車後、まだ何日も経っていませんが、昨日は三重県の鳥羽まで300kmくらい走ってきました。スクーターだって、この程度はぜんぜん平気ですよ。郊外のバイクパス道

路で十分クルマの流れに乗れるし、渋滞路の低速走行も安定感がある。車体は見かけよりコンパクトな印象で、すり抜けもラク。サスペンションがしっかりしているので、どこを走っても快適な乗り心地です。しかもトランクが大きいので、日帰りならバッグも必要ありません。シグナスXのよさをあらためて実感しました」

カスタムは、いまのところ考えていない。不都合を感じた時に、それを補う程度にとどめるつもりだという。

「たくさんバイクを持っているのは、それぞれ個性があつて気に入っているから。ノーマルのまま、そのよさを楽しみたいんです」

**CYGNUS-X 販売最前線
实用オンリーの殻を破れ!**

MC FRONT LINE



“脱オジサンスクーター”をめざし マジスティ以来のヒットモデルに

YSP大阪東／関本博司社長

私たちの店は、原付からリッターオーバー、スクーターからスポーツ、オンからオフまで、とにかく全方位のバイクライフをカバーできるような心がけています。得意分野はあっても不得意分野をなくすという考え方。

原付二種も、通勤・通学ユーザーを中心に力を入れて売ってきましたので、得意分野というくらい伸びてきています。しかしシグナスSVやDなど国内の125ccスクーターは、グランドアクシスのような100ccモデルに比べて価格が高い割に、オジサンっぽいデザインのモデルし

がなく、特に若いお客さまには売りにくいカテゴリーでした。

でもシグナスXは違う。7月〜8月にかけて12〜13台も売れ、マジスティの最盛期に迫る勢いです。バックオーダー状態になっていたせいもあるでしょうが、商品に魅力がなければお客さまは待っていてくれません。都会派のスタイリッシュなデザインで、“脱オジサンスクーター”を狙った戦略が、うまく当たったんだと思います。

またこの周辺は、通勤に使うスクーターでも速さ、加速力を求める人が多いです。かつてJOG ZやZRで育った世代がそのまま移行してきたようで、「いつも朝一緒にいるアドレス、あいつには絶対負けたくないから、もうちょっと速うならん？」って、そんな感じ（笑）。今までのところ、シグナスXのお客さまは同じ原付二種からの代替えで、指名買いがほとんどだったことを考えると、オールニューの4ストエンジンに期待している人もかなり多いのかもしれないね。

SR500を買って以来、ヤマハ一筋に乗り継いできた辻野さん。「デザイン、品質、仕上げのよさではヤマハが最高。シグナスXも、さすがヤマハとを感じる1台です」

ヤマハ

ものづくりの現場から

探訪

企業理念に謳われる「感動創造」の言葉。ヤマハ発動機の製品はこの理念に基づき、「世界の人々に新たな感動と豊かな生活を提供すること」を目的に開発される。それはどのような部署の、どのような人たちの手を経て形になっていくのか——。「ヤマハ探訪」第7回は、「生産技術開発室 プロセス技術グループ」コンピュータ・シミュレーションを繰り返し返して各パーツの生産を可能にし、試作品を検証する部署だ。バーチャルとリアルとの間の、重要な橋渡し役である。

第7回 MC事業本部 生産技術開発室 プロセス技術グループ

コストやスピードを考慮しながら、ヤマハ発動機製品に使われる数多くのパーツをどう生産し、どう組み立てるべきかを考案。また、完成したパーツが設計の目標を達成しているかを検証する。ヤマハの生産技術開発機能が集約されており、担当範囲はバイクに限らない。

一枚の金属板がプレスされ、立体化していく。滑らかな動きだ。銀色に鈍く光る金属板は、やがて複雑で滑らかな形状に立ち上がってくる。面から立体へ、2次元から3次元への移行。

しかし音は一切しない。静寂の中、スムーズな動作だけが繰り返し返される。これはモニターの中の出来事。シミュレーションなのだ。

より高品質な製品をより安く、より良いタイミングで提供するためには、品質を高めながら開発・製造コストを削減し、時間も短縮する必要がある。そのためヤマハ・生産技術開発室では、高精度なコンピュータ・シミュレーションを活用している。

コンピュータ上なら、試行錯誤の自由度は極めて高く、短時間での解析が可能だ。また、パソコンの処理能力が飛躍的に向上したことで、現実には起きる現象をほぼ忠実に再現できるようになった。

ただし、これはヤマハに限った話ではなく、自動車業界では当然のように行なわれていることだ。特にパソコンがバブルになったことで、製造業全体に広まっている。シミュレーションのため

のソフトウェアも汎用性が高く、ヤマハだけが使用している特殊なものではない。

しかし結果として生まれてきたヤマハの製品には、例えば音叉マークや社名のロゴが隠されたとしても、一目で「ヤマハの製品」と分かるだけの特徴がある。

モニターの中の金属板が、徐々に形になっていく。それはヤマハらしい繊細な曲面で構成された、フューエルタンクだ。

優れたデザインスケッチに基づいているから、優れたデザインの製品ができあがる。ヤマハ製品を語るうえでよく用いられるロジックだ。しかしこれは、スタート地点とゴール地点だけを放映するマラソン中継のようなものだ。もの作りのマラソンにおいては、生産技術開発室のように、静かに、重要な役割を果たしている部署もある。

生産技術開発室は、設計部門から上がってきたCADデータに基づき、さまざまなパーツの具体的な製造方法を検討・考案していく。型の仕様や、工作機械の動作を決めるのだ。さらにそ

の製造方法が正しく機能し、設計目標通りのパーツが作られているかどうか測定し、検証する。型の修正やNC機械の動作変更など、製造現場における改善の効率化を図ることも重要な業務だ。

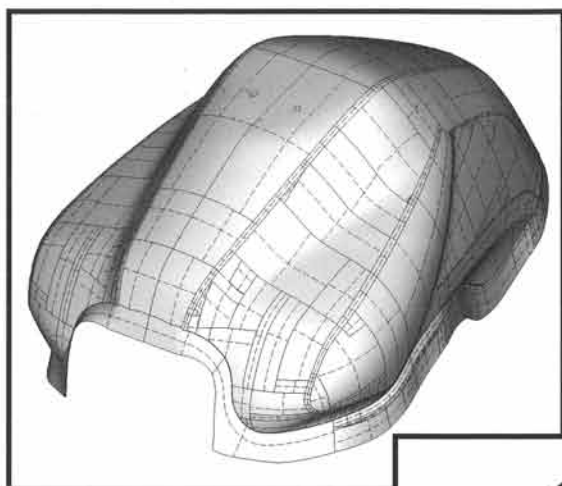
「製品開発にスピードとシビアなコスト管理が求められる時代ですから、シミュレーションは生命線なんです」と、同室プロセス技術グループリーダーの鈴木章弘さん。

「実際の金型でのトライ＆エラーは時間もコストもかなり過ぎるので、もはや不可能。一発でいい仕様を完成させなければなりません」。鈴木誠也さんは、そうしてできあがった各パーツが、目標通りの仕上がりかどうかを測定し、検証する業務にあたっている。

高精度なシミュレーションや検証により、各パーツの品質を事前に保証する。これにより無駄を排し、手戻り（製造現場から設計に仕様変更を求めること）を減らすことができるうえ、設計の段階で生産コストまで計算できる。QDC（クオリティ・デリバリアイム・コスト）のすべてを向上・改善させることが可能だ。

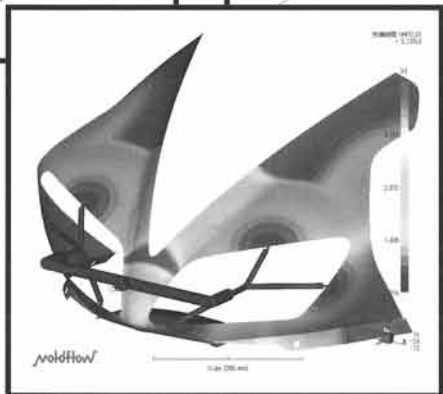
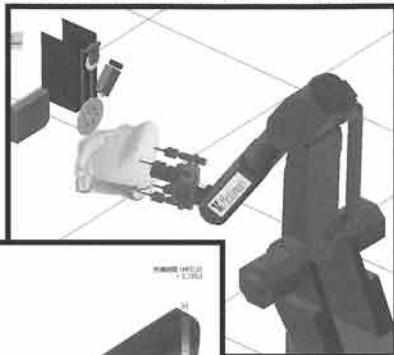
他にないものを、簡単に作る
それがヤマハの商品性を高める

高精度シミュレーションは不可能を可能にする道具のひとつ



フューエルタンクのプレス成形をシミュレート

各種ロボットの動作を検証・決定する「動作解析」



型に樹脂を充填した際の成形性を評価する

だがこれは、生産技術全般に当てはまる一般的な事柄である。鈴木章弘さんはこう付け加える。「他社さんには作れないものを作れるようにすることも、私たちの業務なんです。他にはできないことを、簡単にね」
他にはないものを、簡単に。それはヤマハ製品の魅力や競争力を高めることにほかならない。

「私たちは、デザインそのもののよう
な、知的創造をお手伝いすることはできません。しかし、生産技術力を上げることで、デザインの自由度を高めることはできるんです」と鈴木章弘さん。
工業デザインは、それが現実のものとして作ることができ、しかもマस्पロダクションである以上、生産ラインに乗ってこそ初めて完結する。デザインは本来に形になるのか、最も効率のいい製造方法は何か、組み立て工程はどうすればいいか。生産技術力の支えは不可欠なのだ。

トップダウンばかりではない。先行開発した技術によって「こういうものも作れる」という提案をし、デザインの幅が広がることもある。「生産技術は、感性を生かすためのツールのひとつなんです」と鈴木章弘さんは言う。

実際に生産技術室が用いている道具は、お金さえ払えば手に入るパソコンとソフトウェア、そして工作・測定機械であって、決して特殊ではない。それでも、高いデザイン性や品質感、さらには軽量コンパクトな高性能エンジンなど、「ヤマハラでは」を身にまとった製品が次々と形になっていく。

鈴木誠也さんは「バイクと同じなんですよ」と言う。「バイクにちゃんと乗るには、腕が必要ですよ。それと同じで、さまざまな道具の中から何を、何を組み合わせ、その性能を引き出すには、やっぱりテクニックが必要なんです」

ヨーロッパのソフトウェア会社のスタッフが、「ウチのソフトを使って、どうやったらこんな高精度なもの作りができるんだ？」と視察しに来たこともある。しかし「特別なことをしているわけではありません」と鈴木章弘さん。
「もちろんソフトで言えば各バラメータをどう設定するかなどのテクニックはあります。でもウチの場合は、そうです、アイデア勝負としか言えないですね」

アイデア、つまり「道具を使う人の頭脳」。鈴木章弘さんは「今でこそシミュレーションなんて言っていますけど、実はそれほどこだわっているわけでもないんですよ」と笑う。

「コンピュータを多用しているのも、今のところ最も強力な道具で、最も効果的な方法だから。もっといい道具があるなら、こたわりなくそちらを選びますよ」と明快だ。

道具の種類にこだわりはないけれど、「少しでもいい道具を使いたい」という思いは強い。鈴木章弘さんは、シミュレーション技術を高め、今まで不可能だったタンク形状を現実のものとした。鈴木誠也さんは、CTスキャナーを活用し、組み上がった状態では不可能だったエンジン内部の測定を可能にした。「できないよ」とは言いたくない。「こうすればできるよ」と言いたい」と、二人の鈴木さんは口を揃える。

「要するに、ウチのバイクが魅力的になればいいんですよ」と鈴木章弘さんは笑う。斬新なデザイン、エンジン設計の無理難題……。困難に突き当たった時、「何とかモノにしてやるよ」と立ち向かう魂が、その笑顔の向こうに見える。



鈴木誠也 主事

'93年入社時に、生産技術部門に配属。'96年まではフューエルタンク製造のシミュレーションの開発を担当し、'00年までは計測システム開発に従事。以降現在までCTスキャナーによる測定技術を開発している



鈴木章弘 主査

'83年入社。設計部門でCADの開発・普及を担当した後、'90年に生産技術部門へ。シミュレーションや測定技術を開発している。現在はグループリーダーで自分の手を動かす機会が減り「みんなばかり楽しいことよって」と苦しい



シミュレーションに基づいて実際に製造されたパーツを精密に測定することで、設計の目標通りに仕上がっているか検証する。パーツに触れながら測定する自動3次元測定機のほか、非接触測定が可能な光学式測定機やCTスキャナーを、適材適所で用途に応じ使い分けている

バイク発祥の地・浜松で バイクの魅力を存分にアピール!



「行きつけのショップに誘われて参加しましたが、たくさんの方が手を振ってくれて、うれしいやら恥ずかしいやら、いい思い出になりました」という参加者も

北脇浜松市長は「物作りの観点でバイクのふるさと浜松をアピールし、同時にバイク文化を育み世界に発信していきたい」と挨拶

8月23、24日、静岡県浜松市にて「バイクのふるさと浜松」が約1万人の来場者を集めて盛大に行なわれました。これは国内3メーカーの創業の地である浜松市が「バイクのまち浜松」「モノづくりのまち浜松」をアピールしようと、NMCA日本二輪車協会との共催で行なったバイク月間のイベントの一つです。



24日には、浜松市長やバイク月間の親善大使・布施博さんも参加して交通安全パレードが行なわれ、YZF-R1やドラッグスター、SR、XJRに混ざり、Passolに乗るライダーなど、総勢125名が市内をパレードしました。

メイン会場の静岡文化芸術大学では、GKデザイングループでヤマハのバイクリサーチなどを手がけた伊坂正人教授がコーディネーターを務め、世界一周ツーリングを行なった元コミュニケーションプラザ館長の吉田滋さん、布施博さん・古村比呂さん夫妻らをパネラーに迎え、バイクの魅力のアピール。

このほか、扉に未来のバイクを描くコンテスト、YA-1やXS-1、RZ250などの名車を展示した歴史館、トライアルデモ&体験走行会などが用意され、バイクの楽しさや浜松の産業を見つめ直す絶好の機会として賑わいました。

「YTAヤマハテクニカルアカデミー」 確かな知識と技術力でCSアップ!

ヤマハ二輪車整備士講習会日程 (11、12月)

会場	11月			12月		
	ブロンズ	シルバー	パス	ブロンズ	シルバー	パス
北海道サービス						
東北サービス	11~13					
SC関東		18~20		9~11		
SC中部		11~13		2~4		
SC近畿		11~13		9~11		
中四国サービス		11~13		9~11		
九州サービス		11~13		2~4		

ブロンズ：ヤマハスクーターエンジンのオーバーホール整備とそれに準ずる測定器の習得
シルバー：ヤマハ4気筒エンジンのオーバーホール整備と基本的トラブルシューティングの習得
パス：パスに関する一般整備知識の習得

リコール&サービスキャンペーンのお知らせ

下記リコール、改善対策、サービスキャンペーン車両の改修・修理を行なっております。大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。詳しくは、ヤマハ・ホームページ(<http://www.yamaha-motor.co.jp/news/recall.html>)などでお確かめください。

商品名	交換部品	車体番号
【リコール対象車】		
●リモンJOG・JOG・JOG-ZR(CV50)	スピードセンサー	SA16J-000054~030338 SA16J-030400~030699 UA03J-000013~006302
●ギア(BA50)	マフラー	SA02J-100101~104489
●ピウィス(YW50)	F.マスターシリンダー	SB01J-100101~103519
●グランドアクシス(YA100)	F.マスターシリンダー フラッシュャーリレー	SB01J-126437~138056 SB06J-200101~214122 SB01J-100101~138056
●シグナス(XC125M)	ヘッドライトソケット	SE01J-000101~005648
●シグナス(XC125SV)	ヘッドライトソケット	SE07J-000106~000590
●シグナス(XC125D)	ヘッドライトソケット	4TG-000101~008778
●マジスティ(YP250A)	ヘッドライトユニット、R.マスターシリンダー フラッシュャーリレー、電気配線 ハンドルスイッチ、サブリッド線	SG01J-003245~006687 SG03J-026479~028473 SG03J-000027~015548
●マジスティ(YP250S)	ヘッドライトユニット、サブリッド線 フラッシュャーリレー、電気配線 ハンドルスイッチ、サブリッド線	SG03J-023359~028533 SG01J-000015~006707
●マジスティ(YP250)	ハンドルスイッチ、サブリッド線	4HC-061237~070060
●TW225E	CDIユニット	DG09J-000019~003196

ヤマハの歴史を支えた名車が大集合! 「歴史展示車両動態保存デモ走行」

ヤマハでは、来る11月1日(土)、静岡県袋井市のヤマハテストコースにて「歴史展示車両動態保存デモ走行」を開催いたします。一昨年に一般公開が始まったこのイベントは、日頃コミュニケーションプラザに展示している名車、旧車の走行する勇姿を、コースサイドからナマで見ることができる数少ないチャンス。



昨年は200人を超える熱心なヤマハファン、モータースポーツファンが訪れ、コースサイドでは人だかりができるほど大盛況だった

今年も、'50、'60年代を中心とした市販モーターサイクルをはじめ、「トヨタ2000GT」「OX99-11」、さらには、本橋明泰さん、河崎裕之さんも参加するレーサーのデモ走行では、1978年、ケニー・ロバートのデイトナモデル「YZR750(OW31)」も登場する予定です。ぜひ多くのお客さまにお声がけください。

開催日：2003年11月1日(土) 12:45~15:30

会場：ヤマハ袋井テストコース(静岡県袋井市村松)

※入場無料、雨天中止。

※詳細は決定次第ヤマハ発動機ホームページ内で発表いたします。

URL：<http://www.yamaha-motor.co.jp/cp/index.html>

ヤマハでは10月31日(金)~11月2日(日)の3日間、東京・ビッグサイトにて開催される「2003東京国際自転車展(JICS2003)」に今年もブース出展します。このイベントは、日本で唯一・最大の国際サイクルショーとして、世界各国の有名ブランド・メーカーの最新モデルをはじめ、パーツ、アクセサリ、ウェアなど自転車関連製品が一堂に集結。開催14回目を迎える今年「スポーツ・健康・元気~現在(いま)はじまるNipponのサイクルウェーブ」をテーマに、世界20カ国以上、850を越える企業が出展。さらに、ライブステージでのイベントなど、さまざまな催しも予定されています。



※写真は2002年東京国際自転車展のヤマハブースです。

今年のヤマハブースでは電動ハイブリッド自転車PASの機能的な進化はもちろん、よりいっそうパーソナルな乗り物としての側面に注目。従来の電動ハイブリッド自転車にはない斬新なデザインを用いた数々の参考出品モデルで、PASのある楽しいライフシーンを構築し、とびっきりの週末を演出します。

会期：10月31日(金)~11月2日(日)

会場：東京ビッグサイト/西1・2ホール及び屋外展示場

開場時間：午前9時30分~午後5時30分(最終日は5時終了)

入場料：一般 1,000円(中学生以下無料)

新しいパスワールドは魅力満載!
未来へ繋がるライフシーンを演出!



チーム監督 YSP八戸西/三浦健至代表「今回チーム監督というチャンスがあった。『YSP&PRESTOレーシング』が『自分のチーム』だという実感を持って、我々にとって大きな武器なんだって強く感じました。また、お客さんにレースを身近に感じてもらうこと、レースがお客さんと距離を縮めてくれるという発見も大きな収穫です。レース後に開かれた支部会では、今回の経験を紹介し、レース観戦の重要性を伝えることができました。今後は支部単位、ショップ単位でお客さまとのレース観戦を実現させ、モーターサイクルへの関心を高めていければと思います」

また今大会の結果、北川がシリーズチャンピオンを決定。中富は、最終戦で今季初優勝とともにランキングアップをめざします。ぜひ最後までご声援よろしくお願いします。

8月3日に行なわれた鈴鹿8時間耐久レース決勝で、総合2位を獲得した「YSP&PRESTOレーシング」の中富伸一&YZF-R1。その勢いをつなげようとした前回のオートボリスが悔しい結果だっただけに、第7戦SUGO大会は、初優勝を目指し気合いが入ります。

しかし、9月13日(土)の予選は、霧の影響で2本目が中止となり、中富もタイムが伸びず、予選8番手で決勝を迎えました。

そのオープニングラップは9番手。しかし中富は、下位のペースに惑わされることなく着実に順位を上げ、2周目に8番手、5周目には7番手とポジションをアップして、前方を走る山口と激しい5番手争いを展開。24周目で山口をパスすると、そのままゴールへ飛び込み、5位入賞を果たしました。

進化を続ける若きエース・中富最終戦では初優勝を目指す!

レース開催日程:
10/19
全日本ロードレース
第8戦 T1大会
(岡山県・T1サーキット英田)

FISCOの歴史を締めくくるラストイベント ヤマハTR2、TZ350がコースを疾走!

日本一長い1.6kmのストレートと、30度バンクのハイスピードコーナーが特徴で、二輪、四輪問わず、多くのモータースポーツファンに愛されてきた「富士スピードウェイ」。その37年の歴史にピリオドを打つ記念イベント「富士スピードウェイファイナル 誕生・感動・伝説…未来」が、9月15日に開催されました。

長いレース活動を通して関わりの深いヤマハからは、ゲストライダーとして本橋明泰さん、平忠彦さんが参加し、TR2(1970)、TZ350(1973)でデモ走行。グリッドに並んだ2台には大きな声援が送られ、レトロな外観からは想像できないスピードと四輪にはない軽快感、そして2スト独特の甲高いエキゾーストノートで観客を魅了しました。

このほか、四輪のOB、現役ドライバーを迎えてのトークショーやレース、1966年以来、数々のレースシーンで活躍した名車のデモ走行なども行なわれ、FISCO全体がミュージアムと化し、コース、パドックはたくさんの方で賑わいました。なお富士スピードウェイは、2005年4月にリニューアルオープンが予定されています。



本橋さん、平さんの名前がコールされると、スタンドから大きな歓声が送られた

「二輪車駐車場整備促進」に向け署名活動にご協力をお願いします

現在、自動二輪車は合法的に駐車可能な公共の場所がほとんどなく、多くのユーザーは歩道や路肩などに仕方なく駐車しており、駐車違反摘発件数は年間約3万件に上っています。

この状況を受け、NMCA日本二輪車協会では、二輪車業界関連団体と連携し、二輪車駐車場の利用環境の改善を目的に「二輪車駐車場整備促進」の署名活動を11月末日まで実施。12月には「駐車場法の改正」の要望書を国土交通大臣へ提出します。

全国の販売店のみならず、お客さまにも、この現状と、活動の主旨をご理解のうえ、ぜひご協力ください。署名への参加は、NMCAインターネットホームページを通じての電子署名が便利です。

署名方法

- NMCAの各地区MCA(全国8ブロック支部)のイベント会場にて署名用紙で実施
 - NMCAホームページにて電子署名を実施
- URL : <http://www.nmca.gr.jp/voice/index.asp>

チャンピオン候補に再浮上! 出原2/4位でランキング3位



「小指の骨折による練習不足で不安だらけの大会でしたが、まずまずの結果が残って良かった。残り3戦、チャンピオンを諦めず頑張ります」と語る出原

全日本モトクロス選手権・第7戦(近畿大会)、いよいよシリーズも佳境に入り、チャンピオン争いが激しくなってきた125ccクラス。ここ数戦、4ストローク勢が上位を独占するなか、出原忍(YZ125M)が各ヒート2/4位を獲得しチャンピオン争いに踏み止まりました。

ヒート1は、溝口、井上、辻の4スト勢がトップ3を形成。予選でベストタイムを出していた出原は4番手につけ、後方から驚異的な追い上げを見せます。4周目に井上をパスすると、2番手の辻にも接近。9周目、辻の転倒で2番手に上がり、さらにトップにも約3秒差まで迫りますが、後一步届かず2位となりました。

続くヒート2は、スタートの出遅れから終盤は3番手を走行します。しかしラスト3周でマシントラブルが発生し、4位でチェッカーを受けました。

注目のランキングでは、3位の芹沢がノーポイントに終わったため、出原が3位に浮上。トップとの差は56ポイントとなり、残り3戦での大逆転も可能な状況となっています。ぜひチャンピオンを狙う出原の熱い走りにご注目ください。

レース開催日程:
10/26
全日本モトクロス第10戦
日本グランプリ大会
(宮城県・スポーツランドSUGO)

2003シリーズランキング

AMA NX 250(最終戦終了時)

1	R・カーマイケル	Honda	529
2	K・ウイングダム	Honda	460
3	C・リード	Yamaha	398
4	T・フェリー	Yamaha	376
5	M・ラロッコ	Honda	327
6	D・ビラマン	Yamaha	283

WMX 125MX(最終戦終了時)

1	S・ラモン	KTM	233
2	S・エバーツ	Yamaha	218
3	A・バルトリニ	Yamaha	206
4	M・マスキオ	Kawasaki	168
5	E・エッグス	KTM	146
6	T・ラットレイ	KTM	137
8	A・キオディ	Yamaha	132

MotoGP(第12戦終了時)

1	V・ロッシ	Honda	262
2	S・ジベルナウ	Honda	211
3	M・ピアジ	Honda	174
4	R・カピロッシ	Ducati	123
5	T・バレイス	Ducati	112
6	宇川徹	Honda	94
7	C・テチャ	Yamaha	93

WSS(第9戦終了時)

1	C・バーミュレン	Honda	161
2	藤原克昭	Suzuki	119
3	S・ジャンボン	Suzuki	113
4	J・ファンデン・ブルグ	Yamaha	104
5	K・ムゲリッチ	Honda	84
6	C・ケルナー	Yamaha	78

JRR GP250(第7戦終了時)

1	青山博一	Honda	76
2	小山知良	Yamaha	67
3	徳留真紀	Yamaha	58
4	高橋裕紀	Honda	52
5	竜谷長純	Honda	51
6	中須賀克行	Yamaha	49

JMX125(第7戦終了時)

1	溝口哲也	Kawasaki	303
2	辻健二郎	Honda	265
3	出原忍	Yamaha	247
4	芹沢直樹	Honda	223
5	中村友則	Kawasaki	167
6	高須庸市	Suzuki	167

AMA NX 125(最終戦終了時)

1	G・ラングストン	KTM	380
2	R・ヒューズ	KTM	373
3	J・スチュワート	Kawasaki	350
4	M・ブラウン	Kawasaki	271
5	M・バイレン	Honda	269
6	B・セラズ	Yamaha	269

WMX 650MX(最終戦終了時)

1	J・スメッツ	KTM	290
2	J・ガルチアヴィコ	KTM	260
3	C・メロト	Honda	203
4	D・テイベール	Husaberg	147
5	M・カドレク	Yamaha	110
6	R・ジェレン	Honda	120
8	A・O・ビローネン	Yamaha	107

WGP250(第12戦終了時)

1	M・ボジャーリ	Aprilia	190
2	R・ロルフ	Honda	168
3	R・ド・ビュニエ	Aprilia	162
4	T・エアリス	Aprilia	151
5	A・ニエト	Aprilia	143
6	A・ウエスト	Aprilia	118

JSB1000(第7戦終了時)

1	北川圭一	Suzuki	114
2	渡辺篤	Suzuki	87
3	辻村猛	Honda	78
4	山口辰也	Honda	66
5	井筒仁康	Honda	65
6	民辻啓	Suzuki	50
8	中富伸一	Yamaha	44

JMX250(第7戦終了時)

1	成田亮	Suzuki	332
2	増田一博	Suzuki	240
3	高濱龍一郎	Honda	217
4	田中教世	Kawasaki	211
5	小池田猛	Yamaha	188
6	田島久	Suzuki	187

商品情報をよりの確に ユーザーに届ける

店舗前にずらりと並んだスタンドに、無数のパンフレット。旅行代理店の見慣れた光景だ。その数はまさに膨大で、選ぶのも一苦労するほど。それは、旅行代理店にとっても悩みのタネだった。JTB市場開発部・シニアマーケットプロジェクトマネージャー・本間義信氏は「弊社にはすでに十分な商品ラインナップがあります。しかし、それらの商品とお客さまをきちんと結びつけているか。そこを見直すべきだと考えました」

そこで同社が昨年2月に立ち上げたのが「おとなの旅時間」。「おとなの旅時間」は、それ自身が実体を持つ商品群ではなく、ユーザーの手元までの確に商品情報を届けるためのプロジェクトだ。

「おとな」と称してはいるが「必ずしも年齢や年代でお客さまを区分けするものではない」と本間氏は言う。居住地や勤務地などの地理的特性を意識しているわけでもない。

「プロジェクトの軸は、お客さまの趣味、嗜好、価値観といった心理的な側面なんです。ターゲット層を想定する上でのキーワードは「元氣・上質・遊び心」

「元氣」とは、アクティブで文字通り元氣な人。「上質」とは、良い物には時間もお金もかける人。そして「遊び心」は、旅行を目的達成のための手段と考え、テーマ性のある旅を楽しむ人。これに該当すれば、年齢に関わらず「おとなの旅時間」の対象となる。ですから名称にも、年齢を限定しない「おとな」というあやふやな言葉を使っています」と本間氏は説明する。



他業界に探る H 舞台裏 成功のヒミツ

JTB「おとなの旅時間」

テロ、戦争、SARS。世界を揺るがした事件は、旅行業界にも大きな打撃を与えた。(社)日本旅行業協会の調べによると、海外旅行需要は回復基調だが、業務渡航が中心。観光旅行が復調するには時間がかかりそうだ。そんな中でも動きが活発なのは熟年層。旅行代理店最大手のJTBでも団塊の世代に狙いを定め、商品情報を的確に届けるための「おとなの旅時間」を立ち上げている。



(株)ジェーティービー 本間 義信氏

1912年創業。'01年から現社名。年間旅行総消費額約1兆円の市場で、1兆2000億円以上の売上高を誇る旅行代理店最大手。本間義信氏は、'81年入社。海外旅行虎ノ門支店に11年勤務後、営業本部などを経て'01年2月よりシニア世代の市場開発を担当。学生時代、農学部で遺伝子研究を行う中で培った科学的な理論立てを、マーケティングにも活用している。

商品を知ってもらうことの 重要性を再認識

「おとなの旅時間」は、ターゲット層を想定する上で年齢を注意深く排除してはいるが、「元氣・上質・遊び心」に該当するポリリウムゾーンは、事実上50代前半から半ば。これには狙いがある。

旅行業界では、60歳が旅行申し込みの山

「おとなの時間」ホームページ。旅行商品情報はもちろん、「旅のコンシェルジュ」と題した相談コーナーが人気。JTBが取り扱っていない旅についても丁寧に回答し、時には他社商品を紹介することも。それでも「思ったよりお客さまの帰属意識は強い」と成約率は高い。狙い通り30代~40代の若い層が活用し、50代へのフックとなっている





中性的なイメージ醸成に力を注いだ雑誌「おとなの旅時間」。旅の主役は何と言っても女性だ。50代の男性は仕事に追われている人が多く、プライベート旅行に対するモチベーションは低い。男性の場合、定年退職後に、趣味嗜好性が高く「昔やりたくてできなかった」懐古趣味的な旅行を好む傾向が強い



「おとなの旅時間」が用意している店舗、雑誌、インターネット、他社との提携という4つのチャネルについて、本間氏はこう説明する。

各メディアの特質を考慮し アプローチ方法を変化

「情報収集のみならず、申し込みも電話やメールで済む時代です。何もかも店舗中心で考えず、実店舗には実店舗にしかできない役割を特化させた方が効果的なんです」

「情報収集のみならず、申し込みも電話やメールで済む時代です。何もかも店舗中心で考えず、実店舗には実店舗にしかできない役割を特化させた方が効果的なんです」

「情報収集のみならず、申し込みも電話やメールで済む時代です。何もかも店舗中心で考えず、実店舗には実店舗にしかできない役割を特化させた方が効果的なんです」

「店舗では、今まで以上に高レベルなサービスを提供します。今まで、シニア層といえは自由な時間がたっぷりあるという思い込みから、多少の待ち時間はご了承ください。けると誤解していたフシがあります。しかし実際にはやはり待たされることは誰でもイヤなものです。また、来店のために担当者が変わることも避けたいこと。実際にはカルテがあるので問題はないのですが、少しでも不要な気遣いを排除したい。そこで一部の店舗では、予約制と指名制に取り組んでいます」

ネットでは30代を狙うことが 50代へのフックに

「雑誌は、中性的なイメージで作り込んでいます。というのは『おとな』と名の付く雑誌は、どちらかといえば男性向けのものが多いんですね。ですから表紙からあえて男性を意識させないように心がけています」

「他社さんとの提携というのは、例えばクレジットカードの請求書に同封してパンフレットをお送りするものです。これは複数企業の提携事業ですね。弊社のお客さまというのは、旅行をする方全体から見れば、ごくごく一部なんです。そういった大多數の『名簿のないお客さま』に対してアプローチするためのものです」

「これらの展開に加え、『おとなの旅時間』では、さらにインターネットを積極的に活用している。単なる情報発信メディアの一つとしてではなく、新規客取り込みのアイテムとして、インターネットを捉えているのが特徴だ。

「30代の独身女性は『いいものにお金を出す』という点で、シニア層と似ているんです」と本間氏。「特に30代の独身OLは、会社での地位も高く、気軽に仕事を休めたい。だから1万円の宿に3回泊まるより、3万円の宿に1回泊まってゆったり過ごしたい、と考えるんです」

さらに30代女性の親御さんは、団塊の世代に当たる。「娘」を抑えておけば、自ずと「母」にもフックがかかるという読みだ。「シニア層」などと言いますが、皆さん気持ちは40代、あるいは30代。我々の狙いもあくまでも「アクティブシニア」ですから、実際より下の年齢層に属するように感じさせることも必要です」

「30代の独身女性は『いいものにお金を出す』という点で、シニア層と似ているんです」と本間氏。「特に30代の独身OLは、会社での地位も高く、気軽に仕事を休めたい。だから1万円の宿に3回泊まるより、3万円の宿に1回泊まってゆったり過ごしたい、と考えるんです」

さらに30代女性の親御さんは、団塊の世代に当たる。「娘」を抑えておけば、自ずと「母」にもフックがかかるという読みだ。「シニア層」などと言いますが、皆さん気持ちは40代、あるいは30代。我々の狙いもあくまでも「アクティブシニア」ですから、実際より下の年齢層に属するように感じさせることも必要です」

「30代の独身女性は『いいものにお金を出す』という点で、シニア層と似ているんです」と本間氏。「特に30代の独身OLは、会社での地位も高く、気軽に仕事を休めたい。だから1万円の宿に3回泊まるより、3万円の宿に1回泊まってゆったり過ごしたい、と考えるんです」

さらに30代女性の親御さんは、団塊の世代に当たる。「娘」を抑えておけば、自ずと「母」にもフックがかかるという読みだ。「シニア層」などと言いますが、皆さん気持ちは40代、あるいは30代。我々の狙いもあくまでも「アクティブシニア」ですから、実際より下の年齢層に属するように感じさせることも必要です」

「30代の独身女性は『いいものにお金を出す』という点で、シニア層と似ているんです」と本間氏。「特に30代の独身OLは、会社での地位も高く、気軽に仕事を休めたい。だから1万円の宿に3回泊まるより、3万円の宿に1回泊まってゆったり過ごしたい、と考えるんです」

さらに30代女性の親御さんは、団塊の世代に当たる。「娘」を抑えておけば、自ずと「母」にもフックがかかるという読みだ。「シニア層」などと言いますが、皆さん気持ちは40代、あるいは30代。我々の狙いもあくまでも「アクティブシニア」ですから、実際より下の年齢層に属するように感じさせることも必要です」

「30代の独身女性は『いいものにお金を出す』という点で、シニア層と似ているんです」と本間氏。「特に30代の独身OLは、会社での地位も高く、気軽に仕事を休めたい。だから1万円の宿に3回泊まるより、3万円の宿に1回泊まってゆったり過ごしたい、と考えるんです」

さらに30代女性の親御さんは、団塊の世代に当たる。「娘」を抑えておけば、自ずと「母」にもフックがかかるという読みだ。「シニア層」などと言いますが、皆さん気持ちは40代、あるいは30代。我々の狙いもあくまでも「アクティブシニア」ですから、実際より下の年齢層に属するように感じさせることも必要です」

「30代の独身女性は『いいものにお金を出す』という点で、シニア層と似ているんです」と本間氏。「特に30代の独身OLは、会社での地位も高く、気軽に仕事を休めたい。だから1万円の宿に3回泊まるより、3万円の宿に1回泊まってゆったり過ごしたい、と考えるんです」

さらに30代女性の親御さんは、団塊の世代に当たる。「娘」を抑えておけば、自ずと「母」にもフックがかかるという読みだ。「シニア層」などと言いますが、皆さん気持ちは40代、あるいは30代。我々の狙いもあくまでも「アクティブシニア」ですから、実際より下の年齢層に属するように感じさせることも必要です」

「30代の独身女性は『いいものにお金を出す』という点で、シニア層と似ているんです」と本間氏。「特に30代の独身OLは、会社での地位も高く、気軽に仕事を休めたい。だから1万円の宿に3回泊まるより、3万円の宿に1回泊まってゆったり過ごしたい、と考えるんです」

さらに30代女性の親御さんは、団塊の世代に当たる。「娘」を抑えておけば、自ずと「母」にもフックがかかるという読みだ。「シニア層」などと言いますが、皆さん気持ちは40代、あるいは30代。我々の狙いもあくまでも「アクティブシニア」ですから、実際より下の年齢層に属するように感じさせることも必要です」

「30代の独身女性は『いいものにお金を出す』という点で、シニア層と似ているんです」と本間氏。「特に30代の独身OLは、会社での地位も高く、気軽に仕事を休めたい。だから1万円の宿に3回泊まるより、3万円の宿に1回泊まってゆったり過ごしたい、と考えるんです」

さらに30代女性の親御さんは、団塊の世代に当たる。「娘」を抑えておけば、自ずと「母」にもフックがかかるという読みだ。「シニア層」などと言いますが、皆さん気持ちは40代、あるいは30代。我々の狙いもあくまでも「アクティブシニア」ですから、実際より下の年齢層に属するように感じさせることも必要です」

「30代の独身女性は『いいものにお金を出す』という点で、シニア層と似ているんです」と本間氏。「特に30代の独身OLは、会社での地位も高く、気軽に仕事を休めたい。だから1万円の宿に3回泊まるより、3万円の宿に1回泊まってゆったり過ごしたい、と考えるんです」

さらに30代女性の親御さんは、団塊の世代に当たる。「娘」を抑えておけば、自ずと「母」にもフックがかかるという読みだ。「シニア層」などと言いますが、皆さん気持ちは40代、あるいは30代。我々の狙いもあくまでも「アクティブシニア」ですから、実際より下の年齢層に属するように感じさせることも必要です」

「30代の独身女性は『いいものにお金を出す』という点で、シニア層と似ているんです」と本間氏。「特に30代の独身OLは、会社での地位も高く、気軽に仕事を休めたい。だから1万円の宿に3回泊まるより、3万円の宿に1回泊まってゆったり過ごしたい、と考えるんです」

さらに30代女性の親御さんは、団塊の世代に当たる。「娘」を抑えておけば、自ずと「母」にもフックがかかるという読みだ。「シニア層」などと言いますが、皆さん気持ちは40代、あるいは30代。我々の狙いもあくまでも「アクティブシニア」ですから、実際より下の年齢層に属するように感じさせることも必要です」

「30代の独身女性は『いいものにお金を出す』という点で、シニア層と似ているんです」と本間氏。「特に30代の独身OLは、会社での地位も高く、気軽に仕事を休めたい。だから1万円の宿に3回泊まるより、3万円の宿に1回泊まってゆったり過ごしたい、と考えるんです」

さらに30代女性の親御さんは、団塊の世代に当たる。「娘」を抑えておけば、自ずと「母」にもフックがかかるという読みだ。「シニア層」などと言いますが、皆さん気持ちは40代、あるいは30代。我々の狙いもあくまでも「アクティブシニア」ですから、実際より下の年齢層に属するように感じさせることも必要です」



9月16日、JTBが銀座並木通りに開設した「ロイヤルロード銀座」。付加価値や目的嗜好の高い高品質旅行を求める顧客層を対象に、専門的なコンサルティングに基づいた「上質な商品」を販売する旗艦店舗だ。「店頭」にパンフレットという既存店、インターネットや雑誌などの非店舗メディア、そして実店舗と、差別化は極めて明確



Check Point

実店舗、雑誌、インターネット、他社提携と4つのチャネルを用意し、それぞれの特性を生かしたきめ細やかなアプローチを図る。これほどの手間をかけるのは理由がある。数年前まで旅行業界は右肩上がりだったが、今は戦争やSARSの影響で、市場自体が怯えていると言うのだ。「意図を持って仮説を立て、それを検証しなければ生き残れません」と本間氏。積極性の裏には、自然増に任せていられない厳しい現状がある。



空きコンテナを活用したレンタルガレージの他、専用ビルタイプも用意。各所の収容台数は6~64台。現在は東京23区内9カ所、東京都下1カ所、横浜1カ所の計11カ所で、今後増設していく予定

C
R
O
V
E
R
S
S

今月の

Vol.6
レンタルガレージ
BIKE BANK

同業異種から見る
二輪ユーザー動向

日常の足と休日の趣味で
バイクを使い分ける

バイクバンクを始めたのは平成11年から。最初は8台分のボックスを用意したのですが、あっという間に埋まってしまいました。その後も問い合わせが殺到して、異常なくらい(笑)。その反響の大きさに、これは事業としてもいけると確信しました。現在は約300台分のボックスがほぼ100%近い稼働率となっています。

バイクバンクを利用している方は、複数台所有の方が多くですね。原付を始めとするスクーターを足にボックスまで来て、バイクに乗り換えてツーリングに出かける、というスタイルの方が多くいます。ボックス内にはウェアなど装具を置けるスペースもありますので、着替えてから出発、という使い方をしています。

逆に言えば、お客さまの多くは、バイクを足として利用しているわけではないんですね。ふだんの足にスクーターを使い、休日を楽しむために使うバイクはボックスに保管しておくんです。ボックスは密閉されていますので、ホコリも溜まりにくい。ピカピカにされている方がほとんどで、大事にしていることがよく分かります。

中には数個のボックスを契約して、数台を収めている方もいます。バイクという乗り物は、いったん所有すると手放しにくいものなんですね。売ってしまうくらいなら、ガレージ代を払ってでも手元に残しておきたいでしょう。そうなると思います。バイク置き場は、想像以上に大きな問題になります。

私自身もマンションの駐輪場にバイクを置いていたのですが、管理会社から立ち退くように言われた経緯があるんですよ。バイクバンクへの反響や稼働率の高さを見ても、「大事にはしたいけれど、置く場所がない」というライダーは非常に多いのではないのでしょうか。

盗難の実態を知らずに
被害後にガレージを検討

ほとんどのお客さまがクルマも所有されていますから、クルマの駐車場代にプラスしてバイクのガレージ代というところ、ラクではないと思います。ボックスの利用料は月額1万2000円~2万5000円で、やはり安いものほど動きは早いですね。かといって、安いボックスばかりに人が集中しているかというところ、必ずしもそうではありません。

というのは、料金差は出し入れのしやすさや、バイクバンクのある土地の価格によるものだからです。ボックスの広さや設備面での差はなく、利便性の高いものほど料金も上がる設定です。ですから、利便性を求める方は、納得したうえで高めのボックスを選ばれますね。

また、セキュリティ意識も年々高まっています。バイクバンクではシッターに特殊なキーを採用しているほか、大手警備会社と提携し、万一シッターをこじ開けられれば警備会社と警察の両方に通報されるシステムとなっています。今のところまだ一件も盗難は発生していません。

残念なのは、自宅などでバイクが盗まれたことがバイクバンク利用のきっかけという方が目立つこと。バイクの盗難が非常に多いことさえ知らずに、まったく無防備だったという話もよく聞かれます。

盗難保険に加入していた方も、「保険で返ってきた新しいバイクはガレージに」と強く思うようです。いったん盗難に遭った方のショックは大きくて、もう、バイクを他人に触られる場所に置くことも、置く場所を見られることさえイヤになってしまっているんですね。

バイクは所有者にとっては思い入れの強い乗り物です。だからこそ、より安全に、より美しく維持できるガレージ利用へのニーズも高いでしょう。



株式会社SORIN

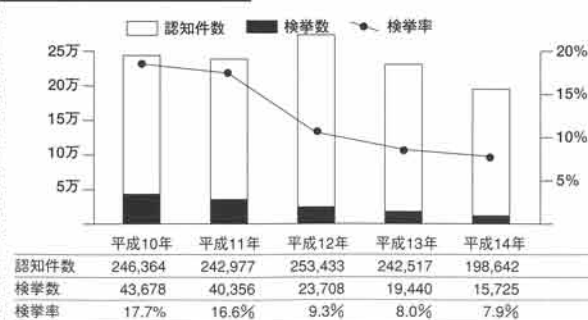
代表取締役社長

齋 真理子氏

「鍵穴破壊や盗難未遂に遭ったうえ、マンションの管理会社に駐輪場にバイクを置くなと言われた」という齋氏の体験と、空きコンテナの活用とが結びつき、BIKE BANK事業に。平成11年から事業を開始し、現在は専用ビルを含め、首都圏に11のレンタルガレージを展開。同社はミネラルウォーターの製造・販売も手がけている。

バイク盗難件数の推移

(警察庁発表資料より)



一時25万件を突破した盗難件数そのものは、平成13年~平成14年にかけて減少。平成15年上半期の盗難認知件数は、前年比78%にまで減っている。ところが検挙率は大幅に低下し、バイク盗難が少年犯罪からプロ犯罪へと様変わりしてきたことを物語る。そこでレンタルガレージ利用の目的として注目されているのが、セキュリティの高さだ。ボックスそのものが24時間監視されているほか、ボックス内で施錠もできる。一方で盗難の実態を被害に遭ってから知るケースは今なお多く、周知徹底が今後の課題だ。



ユーザーは20代後半~60代と幅広いが、ボリュームゾーンは30代。女性は約5%。ほとんどがビッグバイクだが、外車ばかりが目立つわけではなく、国産車も多いとか

アスファルトだったオープンスペースは、今回のリニューアルで、石畳を
意識したカラーコンクリートに変更。お客さまを店内へ誘導するた
めのラインがさりげなく引かれている。



YSP福大東唯一のステージは広くて豪華。もっともアピールしたい得意分野のカスタムデモ車を数多く配置している。また車両の背後には鏡を配し奥行きを作り出す。

カスタムイメージに親近感をプラス 世代を問わずみんなが集うYSPへ

YSP福大東

福岡県福岡市城南区神松寺2-3-4

武本隆司 社長

カスタムを中心に、常に次代のトレンドを作ってきた「YSP福大東」が、今度は店舗で新スタイルを披露。フルオープンのエントランス、吹き抜けなど、センス溢れる店内に、たくさんのくつろぎスペースを設け、カスタムユーザーだけでなく、幅広いお客さまの獲得を狙う。

Profile

略歴 ヤマハの社員として部品課に務めていた武本社長は、18年前、退職をきっかけに、バイク用品店「モーリス」を設立した。それから2年後の1987年「YSP福大前」、1995年には姉妹店として「YSP福大東」を出店。用品ショップの経験を生かして手がけたYB50やTWなどのカスタムが評判を呼び、現在も両店の大きな魅力となっている。そして今年3月15日、YSP福大東が2回目のリニューアルを果たした。

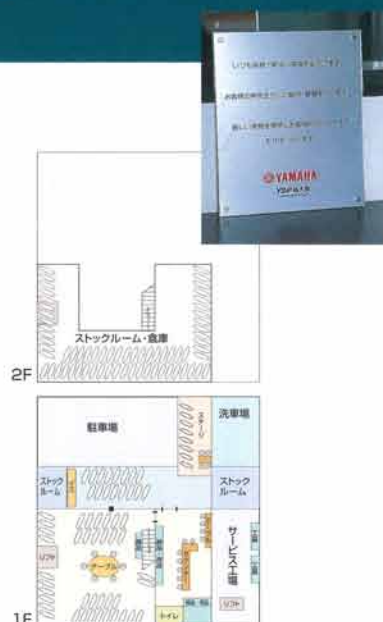
立地 店舗から約1km先には九州大学、さらに福岡大学、西南学院大学などの大学が集中するため賃貸住宅が豊富で、学生ばかりでなく若い社会人も多く集まっている。その一方、この地域には電車の路線が少なく、バイクが重要な交通手段となっており、YSP福大東が面する油山観光道路沿いはバイクショップの激戦区として有名。

店舗 店舗前は、車2・3台を駐車できるスペースと、10台は展示可能なカスタム車専用ステージ(10坪)を持つ。そしてショールーム(45坪)は、扉やウインドウなどが一切なく、フ

ルオープンとなっているため、外と一体感のある造りを実現できた。また、それぞれが独立した、商談ルーム(20坪)、サービス工場(10坪)は、役割にあった広さと作りを持ち、お客さまの動きを把握することにも役立っている。

商圏・客層 二輪専門誌への積極的な露出や、カスタム人気からくるクチコミによって、福岡市の全域からお客さまが集まってくる。中心となるのは多くの大学が集まる店舗周辺で、20~25歳の大学生と若い社会人が客層のメインとなる。しかし、今回のリニューアルでは、フレンドリーなイメージを店舗に反映させ、ファミリーや、カップルの来店も増加、早くもその効果が現れている。

スタッフ 左から、メカニックの段上賢さん、松田大輔マネージャー、山崎幸夫店長、武本隆司社長、メカニックの田中孝晴さん、西浩史工場長、そしてヤマハ営業の大久保誠さん。



フルオープンの間口に、吹き抜けを設けた店内は天井が高く、広々として、開放感に満ちた空間になっている。二階は今のところストックルームとなっているが、今後はショールームへの移行も考えているという。



床の素材は2つに別れている。オープンスペース同様、カラーコンクリート部分はスクーターを中心に展示。天井部分には光が透過する部材を使用して、自然光を取り入れ健康的な雰囲気を出し、また板張りの部分にはスポーツモデル、ビッグスクーターを展示。天井には今回から大型の水銀灯を取り付け、光量をアップ。ところどころにスポット照明も使ってバイクに質感を与えた

オープンな入口と段差のない店内！ 二輪店らしさを追求したリニューアル

大きなウインドーに広々としたショールームを持つ四輪ディーラーは、悠々と3、4台の車を展示し、店舗は販売の現場である以上に、商品を魅せるショーケースとしての機能が高い。

昨今、バイクショップでもウインドーディスプレイに気を使い、少数の主力モデルを並べてアピールするショップが多く見られる。しかし、四輪よりも車種構成の多いバイクショップでは、品揃えの豊富さ、バリエーション、在庫の量をアピールすることも大切な要素。そこで武本社長は、四輪ディーラーにはない、バイクショップならではの店舗をつくらうとリニューアルに取り組んだ。

「最近の店舗は、四輪ディーラーに倣った形態のものが多く、確かに、参考になることもあるし、商品の見せ方も理想的です。でも従来のうちの店舗は、外とショールームの境界となるウインドーも扉もなく、間口がフルオープンという独特の造り。私はむしろ、この特徴を生かして、四輪ディーラーにはないショップをめざそうと思ったんです。そうすることが、他のバイクショップとの差別化にもなりますね」

イメージは、ショーケースというより「触りたい、乗りたい」と感じる店であり、エンジンをかけてすぐに飛び出しているガレージ。そのためリニューアル後も、店内に入る時の段差や、ウインドーなどの境界を一切設けず、フルオープンの入口とした。そして、すべてのバイクとお客さまとの距離を近づけるために、店内にはステージを置かず、照明や展示位置で主力モデルを目立たせる工夫を施した。さらに、お客さまがスタッフの干渉を受けずにショールームをじっくり見てもらえるように商談カウンターを独立させ、より「お客さまのためのスペース」であることを意識した作りとしている。

また、店内をより広く見せるための工夫も凝らした。例えば映画館などは、建物の大きさに比べて入口が小さく、室内に入った時に想像より広さを感じることがある。YSP福大東も、大きな吹き抜けを持つ二階建ての開放感を生かすため、入口は他の店舗と変わらない高さとして、店内へ足を踏み入れた瞬間に目の前が開ける室内空間の広がり、より強調することに成功している。

商談ルーム



商談ルームには、ショールームをスッキリ見せるため、そして商談成立時に合わせて部品、用品を購入してもらうために、基本的なアイテムを揃えた。また、くつろぎスペース兼、サービス工場見学のカウンタ―も設置している



店内の壁面はカスタムパーツを展示する格好のディスプレイゾーン。カスタム技術を見せる役割とともに、オブジェとしても機能している



サービス工場

サービス工場は以前に比べ広くなった。床面もコンクリートから、溶剤に強い素材を使用。色も一般的な緑ではなく、ピンスポが目立つ黄色を使った。また、今回のリニューアルで洗車場を新設し、お客さまから預かったバイクは、ピカピカにして顧客満足度向上に役立っている



店内4箇所に設けたくつろぎスペース。ワンオフで作った長椅子は、ショールーム入口にある。もっともくつろげる中央のテーブルには、カスタムのサンプルを集めたフォトアルバムなどを用意した



4つのくつろぎスペースが決め手！ 安らぎとセンス溢れる空間を実現

YSP福大東は、周囲に手頃な住宅物件が多く、学生のみならず若い社会人も数多く集まる地域にある。そのため今まではカスタム色の強い商品を中心に、若者向けの店作りを進めてきた。しかし今回は、カスタムニーズに応えながら、もっと幅広いお客さまが気軽に来店できる店へと方向転換をはかっている。

「カスタムユーザーにとって、店選びの基準はカスタムショップとしての知名度、商品の完成度、そして「店舗そのもの」にあり、お客さまに店舗から「センス」を感じてもらうことが非常に大切です。幅広い客層に受けるお店とは趣が異なるため、どちらのイメージを優先しようか、ずいぶん悩みました」

しかし、武本社長は、個性的な構造と新しい部材、ライティングなどが作り出すオシャレな雰囲気を優先しながら、この課題の解決策を見つけた。それは、くつろぎスペースを屋外ステージ、ショールーム入口と中央、そして商談ルームの計4箇所に設置したことだ。

「バイクショップに、家族が気軽に過ごせるショールームがこれまであったでしょうか？ ウチの店も、以前は家族で来て、車から降りてくるのはお父さんだけでした。しかし今は家族一緒に降りて来て、展示車を見たり、いすに座ってお父さんを待っている光景を良く目にするし、平均滞在時間も上がっています。私たちも、時間を気にせずしっかり営業ができるようになりましたよ」

若者を中心としたカスタムユーザーと、志向が異なる家族連れのどちらもが来店しやすい店。そこに目を向けた理由について、武本社長はこう話す。

「毎年周辺大学の新入生がお客さまとなり、卒業後もお付き合いしています。実は結婚後にバイクから離れていく方が少なくない。それなら、結婚しても家族とバイクを見に来なくなるお店を作り、一人のお客さまと長くお付き合いして、お客さまの総数を増やしたいと思ったんです。きつこのお店は、今以上に活躍する時がくると思いますよ」

現在までYB50、TW、マジエステイなど、次々と流行を先取りしてきたように、YSP福大東のモットーは、時代の先を見取り入れ、さらにヤマハ専門店として勝ち残り大きな繁栄を手にするための布石も整えた。成果はすでに見え始めている。

YAMAHA Monthly Calendar

2003年

10月 ▶▶▶ 11月

■ セールスプロモーション

■ 普及イベント

■ 新商品

■ イベント・キャンペーン

■ モータースポーツ

☆=数字で示したページに関連情報があります。

10

【ヤマハ関連】

- 10/3 YTAヤマハテクニシャンGP/磐田
- 10/4 SUGO親子バイク教室/SUGO
- 10/5 Club YAMAHA OFF-ROAD CUP/ふくおか村
チャレンジオフロードフロンティア東北/SUGO
- 10/6 ステップアップスクール/SUGO
- 10/10 YAMAHA SUGO レーシングコース体験走行/SUGO
- 10/11 ヤマハTRYカートスクール/SUGO
- 10/12 MINE親子バイク教室/MINE
TI Kids Bike/TI英田
- 10/13 TT-R125レンタルレース/SUGO
YAMAHA SUGO レーシングコース体験走行/SUGO
- 10/15 除雪機YS-1390A・AS 発売
- 10/19 TT-R125レンタルレース/SUGO
- 10/20・21 ファーストステップスクール2Days/SUGO
- 10/24 BJ50 発売
DragStarClassic400 発売
- 10/26 員弁シリーズカップエンデューロ/YSLダイイチ
- 11/1 コミュニケーションプラザ展示車動態保存走行会/袋井テストコース
- 11/1 SUGO親子バイク教室/SUGO
- 11/2 キッズステップアップ教室/SUGO
ちゃれこん!/F-2ファミリーフィールド小湊
サンシャインいわきエンデューロ/MSLしどき
- 11/9 MINE親子バイク教室/MINE
- 11/15 ヤマハTRYカートスクール/SUGO
- 11/16 アップグレードオフロードブラクティス/名阪SL
Kidsオフロードスクール/名阪SL
- 11/22 ヤマハTRYカートスクール/SUGO
- 11/23 TI Kids Bike/TI英田
SUGOキッズミニバイクレース/SUGO
ファンキーエンデューロ/プラザ坂下
員弁シリーズカップエンデューロ/YSLダイイチ
- 11/24 YAMAHA SUGO レーシングコース体験走行/SUGO
- 11/29 ちゃれこん!/香川SL
ヤマハTRYカートスクール/SUGO

10

【社会・業界】

- 10/5 NMCA少年少女モーターサイクルスポーツスクール/神奈川
NMCA少年少女モーターサイクルスポーツスクール/三重
- 10/5 Moto GP第13戦/パシフィック(もてぎ)
- 10/11 NMCA少年少女モーターサイクルスポーツスクール/千葉
- 10/12 NMCA少年少女モーターサイクルスポーツスクール/山口
東京グッドライダーミーティング/交通安全指導センター
- 10/12 Moto GP第14戦/マレーシア
全日本モトクロス第9戦/中国
全日本トライアル第7戦/中部
- 10/19 NMCA少年少女モーターサイクルスポーツスクール/和歌山
- 10/19 Moto GP第15戦/オーストラリア
全日本ロードレース第8戦/TI英田
- 10/25~11/5 第37回東京モーターショー2003/幕張メッセ
- 10/26 NMCA少年少女モーターサイクルスポーツスクール/滋賀
- 10/26 全日本モトクロス第10戦/日本GP
全日本トライアル第8戦/東北(SUGO)
- 10/31~11/2 2003東京国際自転車展/東京ビッグサイト
- 11/2 Moto GP第16戦/バレンシア
- 11/3 原付乗り方スクール/尾久自動車学校(東京)
- 11/9 NMCA少年少女モーターサイクルスポーツスクール/茨城
- 11/16 NMCA少年少女モーターサイクルスポーツスクール/広島



※上記のスケジュールは予定です。
各イベントなどの日程、会場は変更となる
場合があります。

ヤマハ発動機販売 Internet Web Site <http://www.yamaha-motor.jp/>ヤマハ発動機 Internet Web Site <http://www.yamaha-motor.co.jp/>Y-MODE Site(携帯電話専用) <http://www.yamaha-motor.co.jp/y-mode/>

この印刷物に掲載する記事等を無断転載・無断使用する事はお断りいたします。